

DCD 外来のご案内

◆DCD (発達性協調性運動症)とは

- ・運動がぎこちなく、とても不器用な状態
- ・苦手なことや上手くできないことが増え、日常生活で困ってしまう
- ・学習や読み書きの困難さから気付くことも多い

具体的には？

- ・文字がマス目からはみ出る
- ・よく転ぶ
- ・靴ひもが結べない
- ・姿勢が悪い
- ・文房具が苦手
- ・立って靴下が履けない



保護者や教師は…

怠けている
練習が足りない
何度も繰り返せば、必ず出来るようになる



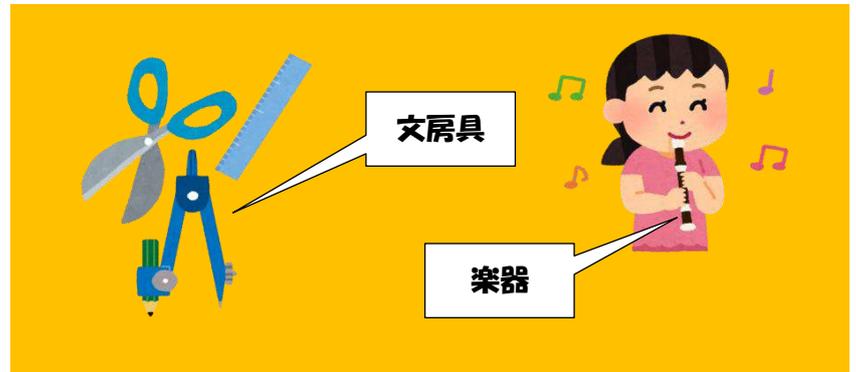
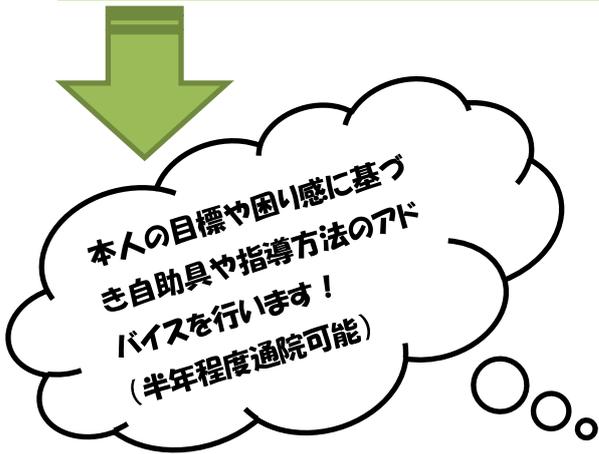
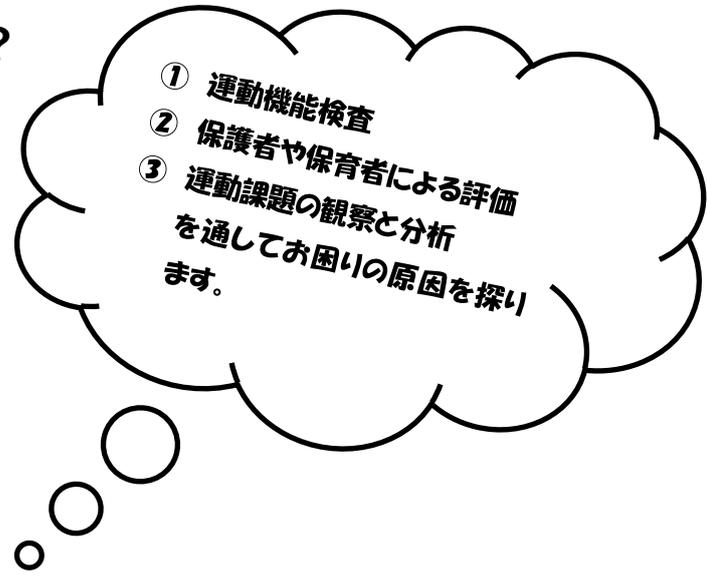
反復練習を強いる指導をしがち

子供はこんな気持ちにないやすい

分かってもらえない
自信がない
生きにくい感じ



◆DCD 外来（作業療法）では何をするの？



◆家庭でできることは？

- 急かさない
- 身近な道具の使い方を教える
- できないことを責めない
- 手順（工程）を分ける
- 手伝いすぎない
- 家族で遊び、体を動かす機会を作る



基本的に本人のやりたいこと、

できるようになりたいことを尊重しましょう。

しかし DCD の子どもたちは自然に上達していくのは難しいです。

そのため、身近な大人達が介入して、

経験を一つ一つ積み上げてあげる必要があります。

